

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月31日(2022.10.31)

【公開番号】特開2021-159452(P2021-159452A)

【公開日】令和3年10月11日(2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-049

【出願番号】特願2020-65574(P2020-65574)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月21日(2022.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を具備し、所定の抽選で当り結果が導出されることに基づいて大当り状態に制御可能な遊技機において、

所定の計数値を更新する計数値更新手段と、

前記計数値が特定値になることで、前記大当り状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

前記計数値が前記特定値に近づいていることを遊技者に認識可能に通知する事前通知手段と、

を備え、

前記事前通知手段による通知が開始された後に所定条件が成立した場合に、前記事前通知手段による通知が不実行に変更される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

30

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を具備し、所定の抽選で当り結果が導出されることに基づいて大当り状態に制御可能な遊技機において、

所定の計数値を更新する計数値更新手段と、

前記計数値が特定値になることで、前記大当り状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、

前記計数値が前記特定値に近づいていることを遊技者に認識可能に通知する事前通知手段と、(お助けモード・前兆演出)

を備え、

前記事前通知手段による通知が開始された後に所定条件が成立した場合に、前記事前通知手段による通知が不実行に変更される(例えば、段落2210等に記載されている、お

40

50

助けモード】前兆演出で用いられる演出要素のうちのランプ発光や音声出力の実行を制限すること等)

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50